

木材利用の活動報告

十勝産カラマツの住宅利用に向けた取組

十勝総合振興局 森林室普及課 法島直人

取組の背景・目的

- ◆ 十勝のカラマツは中径材は梱包材等に、大径材は合板材に利用
- ◆ 住宅への利用は少ないものの、十勝の一部工務店は住宅構造部（梁・柱）に無垢材を使用
- ◆ 住宅構造材（無垢）向け素材価格は合板用よりも高いため、森林所有者の収入増につながる
- ◆ 近年になりカラマツの2×4材への利用が可能に

取組の内容

■「地材地消」パネル展の開催



参加者への意識調査

建築費が高くなってもカラマツを使って住宅を建てたい人は、回答者の70%を占めた。

■2×4展示施設の活用



十勝産カラマツの2×4住宅への推進理由

- ・ 建築シェアが6割
 - ・ 管内で製材が可能
 - ・ 工務店が意欲的
- ➡ 十勝で有利な状況

■「顔の見える」住宅見学会の開催



普及指導員が森林所有者、施主、工務店等をコーディネートした事例

取組の成果

見学会や意識調査などから

- ・ カラマツ住宅（在来工法，2×4工法）に対する印象は向上している。
- ・ 建築費の上昇に抵抗感は少なかった。
- ・ 「登録林分」*材を使用した十勝第1号の住宅が建てられた。
- ・ カラマツが2×4材に利用できることを周知できた。

*登録林分とは、建築用材向けに登録した林分



継続的な普及指導活動

今後の展開

十勝総合振興局独自施策の実施（平成23年度～平成24年度）
（森林室普及課，林務課，建設指導課，環境生活課の4課が連携）

目的：「地域材を活用したとちかち型エコ住宅」の普及促進

- 検討会議の開催
- 普及促進セミナー等の実施
- 設計ガイドブックの作成・配布



目標

カラマツ材の住宅への利用が定着